

6月20日 各セッションの概要

【口頭発表】 午前の部1：10時30分～11時35分、1本あたり30分
午前の部2：11時50分～12時55分、1本あたり30分

場所：Sala 1

時間	題目
10:30-11:00	大学時代及び大学という学習環境で日本語を学ぶ意義 —フランスの大学における継承日本語学習者を事例に— 山内薫（明治学院大学教養教育センター）
11:05-11:35	体験入学に備えた継承日本語教育実践報告 仲西宏美（サラマンカ大学）
11:35-11:50	休憩
11:50-12:20	日本語継承活動(小グループ)の意義考察—サラマンカの実態調査より— 久保賢子（サラマンカ大学）
12:25-12:55	継承日本語教育 コミュニティ参加を目指したプロジェクト活動の試み 根本佐和子（パリ南日本語補習校）

場所：Sala 2

時間	題目
10:30-11:00	「複言語・複文化社会を考える」授業実践の試み —多様な学生たちの体験と気づきのつむぎ合いを通して— 寅丸真澄（早稲田大学日本語教育研究センター）
11:05-11:35	複言語・複文化における借用語としての日本語 —借用語を用いた「概念を仲介する」活動の授業実践— 鈴木裕子（マドリッド・コンプルテンセ大学現代言語センター）
11:35-11:50	休憩
11:50-12:20	日本語が学生の複言語・複文化認知の動機づけになるために —欧州言語ポートフォリオ言語バイオグラフィー活用報告— 伊藤モラレス杏子（グラナダ大学）
12:25-12:55	オンライン読解授業の活性化とその評価 —授業の単調化・一方通行化からの脱却を目指して— 小澤咲（東京国際大学）

第6回スペイン日本語教師会シンポジウム
VI Simposio de la Asociación de Profesores de Japonés en España

【口頭発表】 午後の部：14時30分～16時10分、1本あたり30分

場所：Sala 1

時間	題目
14:30-15:00	ネイティブスピーカーとのバーチャルインタラクションを通じた、スペイン人日本語学習者の異文化対応能力向上のためのカリキュラム提案 ダニエル・ルイス・マルティネス（サラマンカ大学）
15:05-15:35	テレビドラマ「野武士のグルメ」を使用した日本語教育 —複言語、複文化理解のための初中級学習者へのドラマ利用の有効性— 辻井さとみ（ポルト大学）
15:40-16:10	協働学習における日本語学習者と日本人学生の学び合いとは —対面式会話活動とEメールを活用したやりとりの比較検討— 木村愛実（サラマンカ大学日西文化センター）

場所：Sala 2

時間	題目
14:30-15:00	日本語学習者の動機と興味：カタルーニャ地方におけるアンケート調査 アルバ・セラ・ビレヤ（バルセロナ自治大学） 福田牧子（バルセロナ自治大学）
15:05-15:35	複言語主義と日本語：ポライトネスとアイデンティティー 高森絵美（マドリード・アウトノマ大学）
15:40-16:10	国連開発計画-持続可能な開発目標-飢餓をゼロに”の単元で伝統文化の見直しを学習者に！—オンライン副教材「日本語で読書」の作品「節分・もったいない」を使った授業実践とその解説 阪本久美子（メンロースクール） 本郷 依子（本郷侍ソリューションズ LLC）